

# 一色神社「四百年祭」

先人から受け継ぎ、後世に語り継ぐ



## 一色神社

○所在地 川妻56番地1

## ○アクセス

圏央道五霞ICから車で約12分。JR東北本線・東武日光線「栗橋駅(東口)」からタクシーで約8分

一色神社の由来などはこちらをご覧ください。



住民の寄附で建立された記念碑。今なお一色公が川妻地区で愛されていることが伺えます。

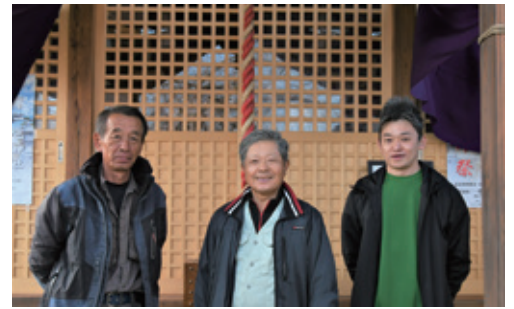


郷土史研究家 加藤大政氏による講演

一色神社の由来などはこちらをご覧ください。聴き入りました。

祭礼の後には、郷土史研究家の加藤大政氏が一色神社の由来について講演し、多くの人々が聴き入りました。

川妻地区の一色神社は、江戸時代初期、飢えに苦しむ農民のため年貢米を強奪して分配したとされる義士、一色次郎輝季が祭られています。今年は一色公の没後400年にあたり、11月21日に「四百年祭」が開催されました。



宮元（一色公を祭った住民の末裔）の（左から）川島さん、藤沼さん、青木さん

## 宮元のみなさんにインタビューしました。

400年という節目にめぐり合わせて祭礼を開催することができてうれしいです。これも川妻地区のみなさんの協力があったことです。川妻地区の守り神である一色様を今後も大切にしていきたいと思います。一色様の恩を忘れずに、先祖から守られてきたものを受け継いで、次の世代に繋いでいきたいです。

江戸時代初期の出来事が今もなお、地元で大切に語り継がれているということに感動しました。一色神社の由来などは上のQRコードから確認できます。

## 第23回全国農業担い手サミットin茨城 開催!!



(有)シャリー従業員の皆さん



9月取材の様子



取材に答える鈴木代表



視聴する染谷町長（右）と鈴木代表（左）



サテライト会場で視聴するみなさん

11月18日に「全国農業担い手サミットin茨城」が開催されました。このサミットは、全国の意欲ある農業者が一堂に会し、相互研鑽・交流を通じて、農業経営の現状や課題についての認識を深め、自らの経営改善と地域農業・農村の発展を目指すのが目的です。

新型コロナウイルス感染症対策のため、初のオンラインでの開催となり、五霞町からは、(有)シャリー（江川）が、茨城県普通作部門の先進事例として紹介されました。9月にサミットスタッフが五霞町へ来町し、事前取材が行われました。サミット当日は、町が五霞ふれあいセンターに「サテライト会場」を設置し、サミットの様子を上映しました。会場には、出演者の(有)シャリーの鈴木代表や染谷町長、農業委員会の梅田会長や農業委員、推進委員のみなさん、また認定農業者連絡協議会の樋下会長をはじめ認定農業者のみなさんが集まり、視聴をしました。上映後は、会場内で拍手が沸き起こりました。担い手の高齢化が進む中、県内の様々な先進的取り組みを学ぶことで、町の農業の発展に繋がるよい機会となりました。